

# 第1セッション 「三代目・J—Soul を願って」

〈緒論〉 深刻な課題としての「少子高齢化」と「次世代リーダーの不足」

「金を残すは下、事業を残すは中、人を残すが上」(後藤新平)

「資産を残すは Good、事業を残すは Better、人を残すが Best」

## 主題聖句：テモテの手紙第二 2章2節

「多くの証人たちの前で私から聞いたことを、ほかの人にも教える力のある信頼できる人たちに委ねなさい。」

### 1. 自覚すべき継承責任

〈四つの世代〉

- ・ 第一世代：命じるパウロ ・ 第二世代：命じられているテモテ
- ・ 第三世代：教える力のある信頼できる人たち ・ 第四世代：第三世代から教えられる他の人
- ・ 聖書読者は第二世代、想定するのは三代後、目指すべきは、「三代目 J—Soul」

〈宣教、信仰継承の評価〉

- ・ 評価対象は、第三世代のありよう（開始60年以降）
- ・ 大切なのは「次世代が何人か？」でなく、「自分世代がすべきことをしているか？」
- ・ 問われるのは「今の次世代人数」よりも「現時点での教会の信仰継承意欲と教育力」
- ・ 見たいと願うべきは「多くの次世代」ではなく「成熟に向かっていく次々世代」

〈アピール〉

- ・ 思い描くべきは、三代目 J—Soul、
- ・ 少子高齢化だからこそ、「今」「次世代」でなく、「次々世代」までも視野に置きながら
- ・ 「今できること」「自分世代がすべきこと」を！現状を悲観せず、第二テモテ2：2の歩みを

### 2. 考えたい未来展望

〈目黒発想から、目白発想へ〉

- ・ 存命中に自分の願う教会？それとも、召天後に神様の願われる教会？
- ・ 地上から既に永遠を生きている者として、召天後の祝福をも、祈り、労するべきでは？

〈自分世代で、地雷の撤去を〉

- ・ 地雷は小爆発させて、撤去するもの次世代に地雷を残し、犠牲者にしない
- ・ 心情的配慮、離脱・分裂回避故の地雷撤去の先送りは、次世代に多大な被害を
- ・ 各教会にとっての地雷とは？

### 3. 問いかけたい動機

- ・問われるのは、根幹にある動機なのでは？
- ・「若者を教会に」と願うその動機は？「救われて欲しい」から？「教会を続けて欲しい」から？  
純粋に「愛の対象」か？教会存続という「聖なる目的のための手段」か？  
「愛」か？「欲（自己願望）」か？「神の家族としての愛」か？  
「伝統文化保存会としての後継者要請」か？「愛」か「機能」か？「家族」か「家業」か？
- ・「愛されていない後継ぎ感」を抱かせていないか？

### 結論とアピール

- ・命じられている継承責任を自覚しよう
- ・三代目までの未来を展望しよう
- ・次世代の救いと成長を願う動機を自問しよう
- ・三代目 J-Soul を願って、新たな思いで、継承を

## 第2セッション～「夢見る老人、幻を実現する青年」

〈緒論〉

- ・世代間の違いは、惑星間の関係に類似、
  - ・天動説（自分中心）に立つなら？地動説（神中心視点）に立つなら？
- ※第2セッションは、自分の世代だけでなく異なる世代にも身を置いて

聖書箇所 ヨエル書2：28、29

「その後、わたしはすべての人にわたしの霊を注ぐ。あなたがたの息子や娘は預言し、老人は夢を見、青年は幻を見る。その日わたしは、男奴隷にも女奴隷にも、わたしの霊を注ぐ」

- ・使徒2章、ペンテコステ時に成就、すべての人が聖霊により御心を一定知り、適用可能に
- ・とりわけ、ベテラン世代が夢を見ることができるのは、幸いな恵みなのでは？

### 1. 何を継承するか？～継承すべきものの特定

- ・霊的なら、見るのは夢、本質が継承、
- ・肉的だと見るのは残像、本質とは別の外的形式が継承
- ・残像の継続・再現欲求（同じことを同じように）は、新たな業と継承の妨げに
- ・「あなたの伝統を手放しながら、あなたの遺産を守りなさい」（「素顔の再洗礼派 P.19」）  
重視された伝統→歳月を経て発展→組織を阻害し、本来の召命を果たせないことが多い
- ・「脱皮できないへビは死ぬ」（経営の世界での定番フレーズ）

伝統＝皮：外的形式、継承すべき本質のための形式、時間の経過により無効に  
遺産＝命：内的本質、継承すべき対象、時間の経過に連れ形式・方法を変えて、継続、成長

- ・日本人に顕著な肉性：他者と同じ行動、従来と同じ行動をとることで安心を獲得  
外国人宣教師の驚きは、長期間の外的形式の保持
- ・夢と幻を見て、各世代が継承すべきものの特定を注がれている「わたしの霊」によって、判別を具体的には、聖書、歴史、交わり、対話を通じて

## 2. どう継承するか？～前提としての共有

- ・継承すべきものについての上の世代の共有が前提  
上の世代の不一致→下の世代の混乱、不信、目的の不明瞭性、モチベーションの低下、徒労感  
上の世代の夢・幻の共有が、恵みの継承を前進させる
- ・世代を超えて教会全体での共有  
上が夢担当、下が実現担当ではなく、世代間で共有し教会全体として実現  
日本初ペットボトルのお茶が売り出された会議
- ・上の世代での夢・幻の共有  
世代を超えて教会全体でも共有を

## 3. 誰に継承するか？～必要な育成と委託

- ・上の世代の意向に沿う人材の育成？聖書から考え判断できる主体的な信仰者の育成？  
前者は、前例踏襲、脱皮できず、後者は、発展的継承をし、脱皮して成長  
「大切なことは伝えたよ。後はあなたがたのやり方で」（大嶋重徳師「若者と生きる教会」）
- ・「育てて委ねる」と「委ねて育てる」の同時並行  
タラントのたとえ：能力に応じた委託、神観で萎縮させないこと、結果でなく姿勢を評価
- ・ド○○○のある教会の話

## 結論とアピール

何を継承するか？～継承すべきものの特定（残像でなく夢を、伝統を手放しながらの遺産継承）  
どう継承するか？～前提としての共有（上の世代で、世代を超えて教会全体で）  
誰に継承するか？～必要な育成と委託（主体的信仰者の育成、育成と委託の同時並行）

未来に向けて、夢と幻を抱いて、豊かな恵みの継承を！